

事業所名

チルルチョコ

## 支援プログラム（参考様式）

作成日

2024年

12月

1日

|           |   |   |         |   |  |  |  |
|-----------|---|---|---------|---|--|--|--|
| 法人（事業所）理念 | 子どもと保護者の豊かな生活に寄り添う支援を行う。  |   |         |   |  |  |  |
| 支援方針      | 支援が必要な子どもへの支援を行い、子どもが楽しく過ごせる環境を提供します。<br>保護者のレスパイトや、家族を含めた支援を提供します。 |   |         |   |  |  |  |
| 営業時間      | 10時0分から   | 18時0分まで   | 送迎実施の有無 | あり  |  |  |  |
|           | 支援内容  |   |         |   |  |  |  |
| 本人支援      | 健康・生活   | 生活環境を整えるアプローチを実践する。料理やお菓子作り、借りている畠で自分たちで野菜を育てるなどの食育、時間に応じた行動の切り替え、身辺自立に向けた整理整頓、片付けなどができるような声掛けなどを行う。                              |         |   |  |  |  |
|           | 運動・感覚   | DIDIMを使い日常的に運動を取り入れていき、身体機能の維持向上に繋がる活動支援を行う。理学療法士等の指導のもと姿勢保持を含めた日常生活動作を訓練し日々の活動の中に取り入れていく。机に座る姿勢、バランス保持や体の正しい使い方をできるような動作を指導していく。 |         |   |  |  |  |
|           | 認知・行動   | 活動を通じて四季を感じられるような制作、感覚遊びを通して知覚にアプローチできるよう支援を行う。DIDIMではゲーム性を取り入れ運動感覚機能の向上と共に、認知力の向上にも繋がる。視覚・聴覚を使いながら運動療育とともに支援を行っていく。              |         |   |  |  |  |
|           | 言語<br>コミュニケーション   | コミュニケーションのレパートリーが増えるようにサインや絵カード、ジェスチャーなど様々な方法でアプローチし支援していく。言葉のバリエーションを増やすだけでなく、適切な言葉の使い方も指導をしていく。                                 |         |   |  |  |  |
|           | 人間関係<br>社会性   | 始まりの会、終わりの会をでは輪になり支援者との関わりだけでなく、他児との関わりを持てるように支援を行う。活動を通して順番を待つことや、相手の気持ちに立って考えられるように支援していく。                                      |         |   |  |  |  |
| 家族支援      |   | 家での様子や事業所での様子を情報共有し、子どもの困りごとを一緒に解決できるようにしていく。   | 移行支援    | ショートステイでの様子を踏まえ一日を通してどのような支援が必要かを考え支援していく。          |  |  |  |
| 地域支援・地域連携 |   | 医療機関、学校、他事業所、相談支援など子どもが関わる事業所を情報共有を行い児相などのケース会議があれば参加する。  | 職員の質の向上 | 外部研修や会議などを行うこと、利用者の情報共有を行い同じ方向性で支援できるようにスタッフの教育を行う。 |  |  |  |
| 主な行事等     |   | 夏祭り、クリスマス会、お誕生日会、プール、外出レクなど他事業所との協力をいながら季節ごとの行事や地域のイベントにも参加する機会を作る。   |         |   |  |  |  |